
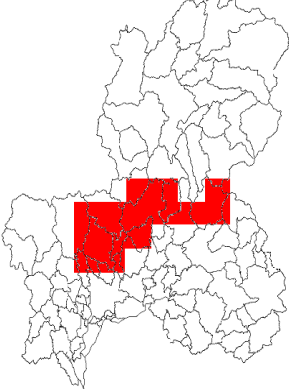


ミカワシヨウマ	<i>Astilbe odontophylla</i> (Miq.) var. <i>okuyamae</i> (H.Hara) H.Hara	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:準絶滅危惧)		ユキノシタ科
選定理由	生育地が過度に分断され、生育面積が狭く個体群も極めて小さい。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	高さ70cmになる多年草。葉には長い柄があり広卵形の葉身をつけて2-3回3出複葉、葉縁に浅く大きさの整った重鋸歯があり、側小葉は斜心形尾状鋭尖頭になってイカリソウの葉に似る。円錐花序に多数の白色小花をつけ、花序には苞がある。	
生態的特徴	山地の林縁など湿り気のある草地に稀に見られ、7-8月に花をつける。	
分布状況	日本固有種。愛知県東部と岐阜県の一部に分布する。	
減少要因	生育地が分断され、生育面積が狭く個体群も極めて小さいため、環境の変化に影響を受けやすい。さらに採取圧も懸念される。	
保全対策	生育地の保全と採取の制限。	
特記事項	開発工事の計画には、小規模な場合でも、事前の調査と細心の注意が必要である。	
参考文献	原 寛(1939)大日本植物誌 ユキノシタ科: p.21. 三省堂 佐竹義輔他編集(1982)日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類:p.166. 平凡社 矢原徹一監修(2003)ヤマケイ情報箱レッドデータプラント:P.289. 山と溪谷社	

文責:後藤常明